

【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

人生の行程表を夫婦で考える

発行者：牧野 F P 事務所合同会社 代表社員 牧野寿和

牧野 F P 事務所 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

<第 423 号の目次>

■ 今週のテーマ

人生の行程表を夫婦で考える

■ 「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

■ 「人生の添乗員 (R)」牧野寿和のプロフィール

■ 編集後記

それでは、

今週のテーマからはじめます。

*:**

■ 今週のテーマ

人生の行程表を夫婦で考える

*:**

私が、これからの人生設計、

いわゆる

ライフプランニングの相談を受けたときに、

相談者の方に、お金のことは考えないで、
思い描いている人生を
一枚に書いてもらうことがあります。

人生の行程表を、描いてもらうのです。

この人生の行程表は、

ご夫婦で相談にみえた場合も、
ご主人と奥様とは別々に書いてもらい、
後ほど、ご夫婦ですり合わせをして、
家庭の行程表も作成していきます。

そして、ここからは現実の世界に戻り、
出来上がった行程表に、
今後の家計収支の推移や貯蓄額を加えていき、
ご主人と奥様、それに家庭の人生の行程表を
完成していきます。

実は、ご主人と奥様の個々の行程表は、
これからの行動指針として、
ご自身が重視されるのです。

しかし、家庭の行程表は、
家計推移を見る指標としては重視されても、
行動計画を決めていく上では、
二の次になる傾向にあるようです。

そこで、今回は、
人生の行程表をご夫婦で考えると、
将来どのような良いことがあるのか、
見ていきます。

確かに現役中は必要ないかも

ご夫婦で描く人生の行程表が、
実際に必要になるのは、

年金収入が家計収入となる、

老後の生活に入ってからかもしれません。

なぜなら、それまでの生活は、
勤務先の都合が重視され、
一日 24 時間の時間の割振りを、
すべて自分で決めることは無理な話でしょう。
また、子どものいる家庭でも
子どもとの時間も重視するでしょう。

従って、子供の成長とともに、
また、ご夫婦が老後の生活に入ることによって、
ご夫婦で自由に使える時間が増えていくから、
ご夫婦で描く人生の行程表が、
実際に必要になるのです。

従って、
人生の行程表をご夫婦で描くのは、
老後の生活に重点を置くべきかもしれません。

夫婦で暮らす老後生活の予算組みをしておく

ご夫婦で過ごす時間が多くなる老後の生活でも、

ご主人と奥様の別々の計画は当然必要です。

ご夫婦一緒での行動計画や
ご夫婦別々での行動計画、
それに、それぞれの予算です。

勿論、家計の財布はひとつです！

ここで考えておいていただきたいのは、
残念ですが、
ご夫婦そろって生涯を終えることはない、
ということです。

言い換えれば、
人生の最終章は、
いくら仲の良いご夫婦でもどちらかが、
独りで過ごす時期があるのが現実なのです。

そこで、その独りの期間も含めた、
生活に必要な資金の予算組みを、

あらかじめしておくことが必要なのです。

目安としては、

男性は、平均年齢約 82 歳+5 歳で 87 歳まで、
女性は、平均年齢約 87 歳+5 歳で 92 歳まで、

この年齢までは少なくとも生きる、
また長寿の家計であれば 100 歳まで生活する、
予算組みをしておいた方が、
安心して老後が過ごせるでしょう。

ご夫婦で将来の計画を尊重し合う

また、人生の行程表をつくる時に、
考えては「いけない」ことがあります。

例えば、ご主人が、
楽しそうに将来の計画を話しているときに
奥さまが、「そんなお金はどこにあるの」
と否定しないことです。

ご夫婦お互いに、
それぞれが考えている計画を、
否定することはないのです。

なぜなら、もともと人生の行程表は、
お金のことは考えないで、
思い描いていることを、
文字に起こすものだからです。

また、その計画が、予算面や健康面、
また住む環境により実現できるかは不明ですが、
ここで思いを書き留めておかないと、

その思いを描いたことすら忘れてしまう、
もったいない人生になってしまうかも、
しれないからです。

また、ご主人の計画を奥さまが知れば、
その計画に奥さまも
知らず知らずに興味を持つようになり、
実現の可能性が高くなっていくでしょう。

奥さんの描く計画についても、
ご主人は同じ思いを持つでしょう。

お互いの考え方を尊重し合う、

これがご夫婦の愛と言えます。

老後の人生の行程も描くのは現役の時代

ただ、注意していただきたいのは、

年金収入が家計収入の中心になり、
現役時代から収入が減るとその分、
生活に変化が生じるかもしれません。

また、年齢と共に心身の老化は、
避けることはできません。

このような状況になってから、
つまり、老後の生活に入ってから、
楽しくご夫婦で過ごす、
これからの生活計画をするのは、
晴天ではなく、
空模様がおかしくなり始めてから、
洗濯ものを外に干そうとしているようなもので、
考えても、憂うつになってくるでしょう。

従って、この時期よりも、
収入にも余力がある現役にうちに、
老後のご夫婦の行程を計画しておくべきでしょう。

計画を立てるのに、
早すぎることはなく、
新婚の時代や新居を購入したときなどの、
夫婦のターニングポイントの時期に、
老後の計画もしておいても良いでしょう。

実行は夫婦の知恵で実行される

そして、計画していたその歳になり
実際に実行するのか、

その時のご夫婦の身体や
家計の状況も影響するでしょう。

もし、変更するのであれば、
これまでご夫婦で培った知恵がものをいって、
良い方向に収まるでしょう。

ご夫婦で長年計画していたことは、
計画通りではなくても、
何らかの形で、実行されることでしょう。

*****:
■「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ
*****:

ご夫婦で創った人生の行程表の実行には、

時間をかけて

成熟させておくことがポイントです！

*****:
■人生の添乗員 (R) 牧野寿和のプロフィール
*****:

日本で唯一「人生の添乗員 (R)」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

開業 17 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、
日本の方と他国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。
そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、
日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。

2018年から牧野FP事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ900件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・NPO法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）協会 CFP（R）認定者
- ・1級ファイナンシャル・プランニング技能士（資産設計提案業務）
- ・福祉住環境コーディネーター
- ・総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ〜テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<出版>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談を受けている方は、名古屋市内はもとより
愛知、岐阜、三重県、
ご紹介をいただいて、首都圏や関西にも
足を延ばす機会が増えてきました。

「人生の添乗員（R）」は、どこまでも行きます。

他人を気にすることなく、
相談者ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

■編集後記

今年は、

自宅で、ご夫婦で過ごす時間も増えて、

これまでは時間がなく
話しあえる機会がなかった
取り留めのないことだと思っていたことも、

じっくり話す時間も出来たでしょう。

将来のためにも、

そんな時間は、
有効に使いたいものですね！

【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

来週もご愛読のほど、
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。

こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野 FP 事務所合同会社 公式サイト : <https://www.makino-fp.com>

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
